

中学生の部 入賞

自分の母は、となり町の給食センターで働いている。もともとは県の教育大学に通っていたそうだが、中退し、スーパーの店員や歯科医院で事務をやったりして、最終的にきついた仕事だ。

自分は、やはり母の経歴の中で、教育大学を中退したところが、どうも心にひっかかってしまう。「大学でがんばって勉強していればもっとお給料の良い教師になれたのに。もったいないよ。」と思う。しかしある日、仕事から帰ってきた母から話を聞いていると、夏はクーラーなしで熱いなべで汁をつくったりと、とても苦勞して働いていることを知った。そこで自分は気がついた。母は自分の笑顔だけではなく、給食を食べてくれる子の笑顔も苦勞してまでつくっているのだ。本当に良い仕事というのは、給料が良い仕事ではなく、多くの人の笑顔をつくる仕事なのだ。お母さん、僕の笑顔を毎日つくってくれてありがとう。僕も笑顔のつくれる仕事に就きたいな。

愛知県江南市 中学2年生

なかむらのりひさ
中村 紀久さん